

新型コロナウイルス対策の地方創生臨時交付金を活用した令和4年度の支援事業をご紹介します。

子育て世帯の救済や地域住民の生活応援、商工業と農業者への支援など全部で9事業です。

子育て支援

- ・子育て世帯生活支援特別給付金
事業費 1110万円

所得に応じて支給される国の特別給付金の対象から外れた子育て世帯に対し、お子様1人に対して一律5万円を支給しました。また、令和5年2月末までに生まれる新生児に対しても、同様に一律5万円を支給いたします。

- ・学校給食費全額免除
事業費 772万円

長引くコロナ禍の影響から、食料品の高騰など各家庭の生活費が圧迫される中、保護者の皆様が支払う1年間分の学校給食費を免除し、家計への負担を軽減しました。

- ・保育所副食費全額免除
事業費 86万円

認定こども園妹背牛保育所を利用する3～5歳児を対象に、本年度1年間分の副食費（おかず・おやつ代）を全額免除し、生活環境の変化に対応する保護者の方を支援しました。

商工業者への支援

- ・地域経済復活対策事業
事業費 350万円

長引くコロナ禍で、商店街に対する消費行動が依然として鈍く、経済活動の底上げが必要な状況です。

消費が活発になる年末年始の時期に合わせて、飲食・酒類券の発行、ポイントカードに特典を付与する事業を実施。景気の落ち込みを防ぐ対策の一環として、地域経済の回復を目指しました。

農業者への支援

- ・妹背牛町化学肥料購入支援金給付事業
事業費 2090万円

町内の農業者を対象に化学肥料の購入費を助成することで、物価高騰の影響を受ける農業経営の負担軽減を図ります。

農業資材の高騰の影響を緩和する支援策で、助成額は、令和4年6月1日から12月31日までに発注した化学肥料に対して、1トン当たり9,375円です。

生活応援

- ・もせうし町民生活支援商品券
事業費 5514 万円

町民の皆様全員に、町内各店で2万円分の食事や買い物ができる生活応援の商品券を配りました。

1人につき1千円券20枚の商品券を配付。昨年末までの6カ月間、町内の商店街で利用できる仕組みを設け、町民の皆様の生活を応援するとともに、コロナ禍で消費が低迷している地元商店街の活性化を図りました。

- ・妹背牛町低所得の高齢者世帯等生活支援給付金
事業費 578 万円

高齢者や障がい者世帯は年金などの収入が定額であるとともに、就業することも難しいことが想定され、コロナ禍による原油価格・物価高騰の影響が特に大きいことから、給付金を支給しました。

住民税非課税の高齢者と重度障がい者の計482世帯に一律12,000円を給付しました。

再エネ調査

- ・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
事業費 1002 万円
うち国の補助金 752 万円

新型コロナウイルス感染症は、人々の働き方やライフスタイルを大きく変化させており、家庭や企業、運輸など多くの分野のエネルギー消費・CO2排出量に大きな影響を及ぼしています。

新しい生活様式の変化に対応し、自然と調和した社会の転換を図るため、地域の特性を生かした再生可能エネルギーのポテンシャル調査を実施。エネルギーの分散化を目指し、災害に強いまちづくりを目指します。

バス運行支援

- ・妹背牛町バス路線運行継続支援金
事業費 47 万円

新型コロナウイルス感染症の拡大をはじめ、利用者の減少や運送原価の上昇など大きな影響を受けている妹背牛町内バス路線に対する運行継続に向けた支援が目的です。

事業費は、妹背牛町内を運行するバス事業者が支援要請をした路線に対して、燃料高騰による影響額を算出し、町内運行距離分を案分した金額です。

※影響額とは、R2年度とR3年度の各月軽油単価を比較し、増加額に各月の使用量を乗じたR3年度実績